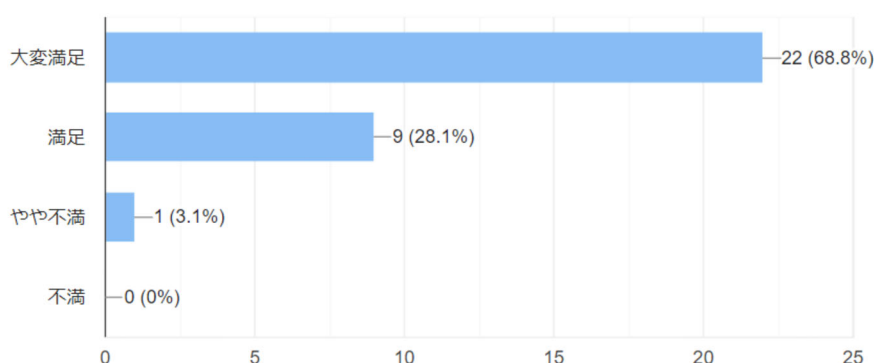


2023年教育カウンセリング・オンライン研修講座 参加者感想アンケートまとめ

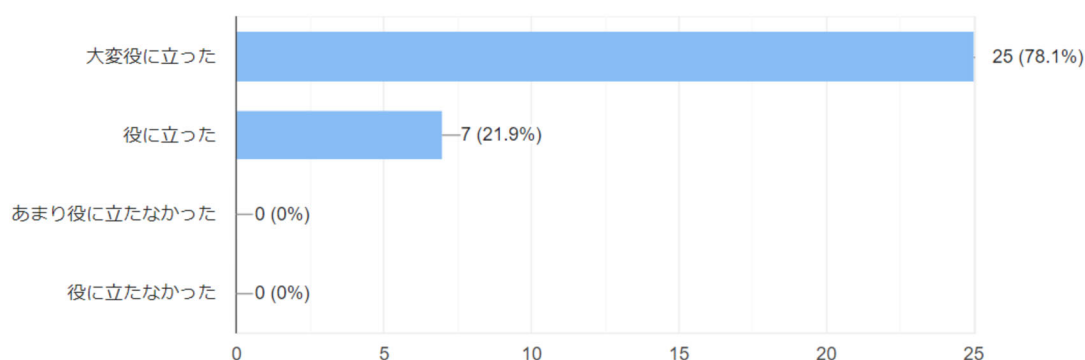
秋田県教育カウンセラー協会

2023年1月21日（土） 13:30～16:30
「愛着障害と発達障害の支援と保護者対応」
講師：米澤 好史（和歌山大学教育学部 教授）

① 研修講座全般について（回答数32名分）



② 研修講座の内容について（回答数32名分）



③ 研修講座の内容についての感想

- ❖ 私は発達障害の専門なのですが、最近実感として愛着の問題が大きいお子さんの相談が増えているように感じ、今回こちらの研修を受けさせていただきました。自分自身は、保育所等の先生や保護者にお子さんとのかかわり方を助言することが多いのですが、今回の研修を受けながら、今まで自分が行ってきた助言内容等振り返り、あのときこう言ったほうがよかったかな、これは言うべきではなかったかもな…と反省することができました。またこのような機会がございましたら参加いたしたいと思います。本日は充実した研修を開催していただき、ありがとうございました。
- ❖ 米澤先生のお人柄が素敵で、まだまだお話を聞いていたい（聞き足りない）という感じです。キーパーソンと一緒に気持ちを言い当てるといのは、大変ためになります。

- ❖ 愛情の受け止め方の器の形そのものが、発達障害。穴が開いていことが、愛着障害。穴を埋めることや器をつくるのがキーパーソン。愛情を貯めることが、自己肯定感、自己有用感というとらえ方でよかったのでしょうか？キーパーソン無くして、支援の成果はでなかったことがよくわかりました。
- ❖ 米澤先生のご講義は、専門性が非常に高いにもかかわらず大変分かりやすく、ひとつひとつ腑に落ちるものがあります。「愛情の器」モデルが、本当に分かりやすいです。迷ったときには、この図にたち戻って考えると、どこを補うべきか答えが出るなと思いました。今回は現在担任している小3女子児童への指導支援に悩みがあるため受講いたしました。米澤先生のご提示される愛着の問題が多々当てはまる子です。具体的な接し方、留意点などを再確認することができ本当によかったです。ASD・ADのタイプだと思われませんが、現在は私がキーパーソンです。特定の友達に過敏で攻撃性があり、感情が高ぶったときに「死ね」と吐き出すので、周囲の先生たちから、絶対NGワードとして指導し言わない約束をさせるよう要求されているのですが、そして言わなかった日は褒めるようにとのアドバイスなのですが、何か根本的に違うと感じてきました。これは真正面からの指導であろうと思います。ソーシャルスキルトレーニングでも意味はない。先生のお話を伺い、日常生活の中に埋め込んで行きつ戻りつ育んでいくことが時間はかかっても成果があるのではと考えました。先手の支援を心掛けて適切な時に働きかけていこうと思います。キーパーソンの受け渡し、交替にも取り組まねばなりません。愛着障害(感情発達の障害)として捉え、今回学んだこと、特に行ってはいけない対応等の伝達と共に引き継いでいきたいです。保護者対応のところ、取り上げてくださり有難うございました。親としても教師としても、非常に共感しながら拝聴しました。前述の子のお母さんも「責められている」思いがいっぱいです。初めに有効だった手立てなどを伝えるということを学びましたので、早速そうしていきます。また機会がありましたら、是非、また詳しく学びたいです。
- ❖ 詳しくわかりやすい資料の下で、米澤教授のわかりやすい講座で参考になりました。まだ、地元では愛着障害という言葉で、生徒を理解するまで至っていない感があります。しかし、昨年2月、米澤教授の「愛着障害の理解と愛着の問題を抱えるこどもへの対応」から引き続き2回目の講座であり、全体像が分かりつつあり、しかも、分かったこととわからないことが、わかってきた段階で、興味があります。
教育現場で、荒れやすさを食い止めるためにも、一人一人のウェルビーイングのためにも、具体的な対処がわかってきました。ただ、どうしても、保護者の理解や、保護者と学校が良好な人間関係の中で、進めていきたいので、具体的な保護者への対応方法をもっと知りたいと思いました。また、教育委員会などの理解も必要で、SCやSSW以外にも、たくさんの支援があれば、1対1のキーパーソンも、より確保もできるのかなと思います。すべての園や学校種への働きかけ例などがあれば知りたいと思いました。
- ❖ 具体的な症例、適切な対応、不適切な対応などを知ることができとても勉強になりました。愛着障がいといってもさまざまタイプがおるので、正しく把握し一人ひとりに合わせた支援が大切だと感じました。また、支援をする人たちの連携や保護者への対応や情報共有なども必要なもので、一人ではなく皆で協力して愛情の器の作る様にしていきたいです。
- ❖ 今まで発達障害と思って関わっていたケースの多くが、ベースに愛着障害がある可能性があることに気づきました。
- ❖ 大変勉強になりました。質問された方もおっしゃっていましたが、本と合わせてお話を聞くことで理解が深まり、実践のイメージもわいてきました。また愛着障害と発達障害が併存することも子ども達とかかわってきた経験からとても納得することができましたし、支援の糸口が見えた気がして大きな励みをいただきました。具体的な支援例などもたくさんお聞きしたいと思いました。書籍もいくつかもっていますが、事例がたくさん載っている本も読んでみようと思います。本当にありがとうございました。

- ❖ これまでの自身の対応に反省すべき点が多く、妙に納得する点が多くありました。現在、自校に在籍する児童だけでなく、保護者にも愛着障害かなと思われる方がいるとお話をうかがって思いましたが、色眼鏡でみるのではなく、本日の学びを整理して、また他の職員とも共有したいと思います。ありがとうございました。
- ❖ 米澤先生の講演は何度聞いても新たな発見をすることができ、また明日からの支援の力を分けていただいた気持ちになります。実際の対応についても更に詳しくお話を伺いたいです。
- ❖ 明日からの支援に活かせそうです。また、米澤先生のお話を聞きたいです。
- ❖ 先生の本を教科書に日々子ども達と関わってきましたが、本日実際に講義を聞きただけ勉強不足であることを実感致しました。大変貴重なお時間でした。これからの支援に繋げていきたいと思います。ありがとうございました。
- ❖ とても勉強になりました。
今関わっていく中で実践したいことがいくつもありましたので、それを明日から試していきたいと思います。
- ❖ 大変、勉強になりました。ありがとうございました。
- ❖ 大変よかったです。
- ❖ 以前米澤先生のお話を伺って感銘を受け、ぜひ本日もお聞きしたいと思って参加しました。米澤先生の書籍も大変勉強になります。本日、直接お聞きし、具体例や説明を伺うことで更に分かりやすく、愛着障害について理解しやすくなりました。愛着障害を理解することは、支援が充実し、お子さんの成長につながると 생각합니다。これからの実践に生かしていきたいと思います。
- ❖ 愛着障害の解説をしていただいているとき、かかわっている生徒が何人か思い浮かびました。特に、自己評価の低さを補うために物をあげたり、人を注意したりというところにも、愛着が関係しているというのが学びでした。今後チームとして関わっていく際の参考になりました。ありがとうございました。
- ❖ 担任する生徒に合致する姿がたくさんあり、これまで自分が手探りで考えてきた捉えや方向性、教師間で連携してきたことの確信となることと、この先やらなければならない支援の検討が必要なことを明らかにすることができました。安全基地、安心基地、探索基地とキーパーソンが現状の大きなポイントになる内容でした。
どの子も大切な存在で、手放してはいけない存在です。どの子も社会で自分らしく生きていけるよう、保護者も含めた支援をしていきます。今日の学びを周知し、チームで尽力を尽くしたいと活力が湧きました。ありがとうございました。
- ❖ 発達障害と愛着障害の違いについてじっくりとお聞きできてよかったです。保護者との関わりについては、もっとお聞きしたかったと思います。
- ❖ 愛着障害をより深く理解する事が出来ました。
私は、支援員として学校で様々なお子さんと接しています。この講座と一緒に受講した担任の先生と話し合いながらより良い支援をしていけたらと思います。
希望として、もう少し、保護者対応の講義を聞きたかったです。
月曜日から支援の仕方を間違えないよう先生の著書や今日のプリントを読み返してから学校に行きます。
ありがとうございました。

- ❖ 愛着障害と発達障害について（自身の）捉えが違っている部分があり，大変有意義な研修となりました。寄宿舎指導員として勤務しており，様々な実態の生徒が入舎しています。寄宿舎では生活指導がメインとなるが，今回の研修を今後の実践に生かしていきたいです。
- ❖ この度は貴重なお話をお伺いすることができ大変嬉しく感じております。ありがとうございました。
私は現在 5 歳と 2 歳を育てる親であり保育者を目指しています。自分の子育てを振り返ると，働きながら子育てしていた頃にこの愛着についての知識を少しでも待っていたら育児にもっと丁寧さを意識していたのではないかと反省の念を覚えました。
今回愛着障害と発達障害の違いを知ることができ今後の自身の育児や保育者としての対応の参考にしたいと考えています。
今回の学びを糧に，子どもたちと保護者たちの力になれるよう頑張ります。
本日はありがとうございました。
- ❖ 愛着障害と思われる児童と関わったことが何度かあります。発達障害については，特別支援学級を十数年担任してきたので，個々への対応もある程度できるようになったと感じています。しかし，自分なりに勉強して，愛着障害について知ると，目の前にいる児童が抱えている困難の原因はこちらではないかと感じることもあります。今回は，自己流ではなく，正しい知識をもって対応したいと考え，受講しました。更に理解を深め，目の前の児童に適切に対応するために，書籍等で勉強していきたいと思います。
- ❖ 米澤先生の講義は何回か聞いていました。そして今回は保護者対応に焦点をあてた内容を期待して参加しました。ところが，肝心の部分が急ぎ足すぎて残念でした。
- ❖ 何回お聞きしてもいい内容です。自分がしっかり理解するために大切なことばかりです。ただ，どんなに先生が急いでも保護者対応や事例についてのお話が短くなるのは残念です。研修内容を事例または，保護者対応に絞ってその内容で OK な人に参加していただくのもありかと思いました。（3 回目の受講者です）
- ❖ 大変勉強になりました。時間内にすべての内容を聞きたかったです。研修資料の空欄になっているところが埋まっているものだけでも，いただけないでしょうか？
また，今回初めて参加させていただいたので良かったです。何回も参加されている方にとっては復習のような形になってしまったと思うので，愛着障害の中でも内容を細分化し，本当に聞きたいところをしっかりと聞けるような研修にしていただけると，さらに良かったのではないかと思います。
ぜひまた受講させていただきたいです。
- ❖ 時間がもっと欲しかったです。事例を基にした具体的な対応をお聞かせいただけると，より理解が深まったように思います。次回また，資料でお話しいただけなかった内容を受講できる機会をいただきたいと存じます。
- ❖ 直接話を伺うことの貴重さを実感しました。諸問題に携わりながらのお気持ちや，最新の情報など，価値のある話ばかりでした。惜しむらくは，全ての理解が出来ずに時間が過ぎてしまった感があるので，メモを元にして，何度も内容を振り返り，しっかり学びたいと思います。
- ❖ 資料の内容について全部聞くことができなく残念でした。
- ❖ 後半時間が足りなかったのが少し残念でした。
- ❖ 進行のペースが早く，事前にいただいた資料の空欄部分を埋められていない箇所が多いです。また，時間の都合上，飛ばしたページも多いかと思います。空欄部分が埋まった資料をいただきたいです。

- ❖ 毎回、米澤先生の研修会に参加させていただいています。
今回も丁寧なお話のため、関心のあった「保護者対応」部分は駆け足となってしまいました。配付資料の P16 ～ 18 の穴埋めとなっている部分だけでも、見せていただいた資料を配付いただけないでしょうか？お願いいたします。
(努力しましたが、時間がなさ過ぎて書き取ることすらできませんでした。)

参考

資料 P16 ～ 18 の発達障害を併せもつ児童生徒への対応や保護者対応については、全てではありませんせんが…米澤先生のご著書「愛着障害・愛着の問題を抱える子どもをどう理解し、どう理解するか？アセスメントと具体的支援のポイント 51」(2019, 福村出版)の第 2 章「Ⅲ ASD + AD」「Ⅳ 保護者支援」という箇所具体的な支援事例の記載があります。

米澤先生が以前の講義で「本質を理解しないままの支援を危惧しており、あえて資料の答えは教えていない」とおっしゃっておいりました。

書籍の事例をとおして、お子さん行動の背景と意味を知る手掛かりとしたり、保護者支援の原理原則を学ぶ機会になったりすればいいなと思います。

(藤谷 淳一(協会理事, 秋田県立横手高等学校校定時制課程 「スペース・イオよこて」 「通級指導教室」 主任))

④ オンライン開催に関するご意見やご要望について

- ❖ オンラインだからこそ長野から参加できました。途中、お話が猛スピードだったので、機会があれば 4 度目をお願いしたいです。今回はじめて参加しました。
- ❖ 米澤先生の講義がありましたら、また参加させて頂きたいと思っています。
- ❖ 先生が説明を省かれた部分の資料の空欄が記載された資料はいただけないでしょうか。お忙しい中恐縮ですがお願いしたいと思います。
- ❖ 最後までお話が聞けなかったことがとても残念でした。
- ❖ もう少し研修の時間を長くとっても良かったかと思っています。
- ❖ 愛着障害とは、という基本のところから教えていただけたことが、私にとってはありがたかったのですが、大変内容が濃く、具体的な対応や保護者へのアプローチなど、時間の制約で中途半端になったように感じ、大変残念でした。内容から考えると、時間が足りなかったように感じます。
- ❖ オンライン講座の前に、配付資料を送っていただきありがとうございました。
- ❖ 他の地域に行かなくても研修を受けることができたのでよかったです。
- ❖ オンラインですと、地方開催の研修も受けやすく、大変ありがたいです。
- ❖ オンラインで開催して頂けると、参加しやすい為、大変ありがたいと感じています。
- ❖ 移動に時間を取られないのでオンライン研修は参加しやすいです。
- ❖ オンラインの事業はとても有効です。どこの講座でも参加ができるので、自己啓発的に参加できて、良いと思います。
- ❖ 冬季の実施でしたので、オンラインで自宅で受講でき、ありがたかったです。研修会の企画や連絡等もありがとうございました。

- ❖ オンライン開催により自宅で参加できとても助かりました。Zoom 参加やアンケート回答もわかりやすくご案内頂き、不安なく受講することができました。
- ❖ コロナ対応が緩和されたとしても、オンライン研修は大変有り難いです。意見交流の場なども貴重だと思いますので、機会があれば参加したいと考えています。
- ❖ メールから Zoom が簡単に立ち上がって、本当にありがたかったです。いろいろと環境を整えていただき、こうやって学ぶ機会を得られ、感謝に絶えません。
- ❖ もっと受講される方がいてもいいのにな（受講人数がもっと多くてもいいのにな）と思いました。
- ❖ 貴重な学びの機会をいただき、ありがとうございました。
- ❖ 他県からも受け入れて頂き感謝しています。
- ❖ 詳しい案内ありがとうございました。
- ❖ 素晴らしい講師をご招聘いただき大変有難うございました。ぜひまたご案内をいただきたいと存じます。ご準備等本当にお疲れ様でした。
- ❖ お忙しい中、丁寧な準備、運営ありがとうございました。
- ❖ いつも素晴らしい講師をいち早く呼んで頂き、また、運営もスムーズで感謝申し上げます。

⑥ 今後受講したい講座のテーマや講師について

- ❖ 愛着障害の子どもへの具体的な対応について
米澤先生の研修は、ぜひまた受けさせていただきたいです。
- ❖ 今回の続きをまた機会がありましたらお願いしたいです。
- ❖ また、米澤先生の講演を聴きたいです。
- ❖ 米澤先生の講演をこちらで 2 度参加させていただきました。機会がありましたらまだまだお伺いしたいことがたくさんあります。
- ❖ 米澤先生から、愛着障害の対応(お子さんや保護者さん)を中心にしたお話をお聞きたいです。
- ❖ 米澤先生が提唱する愛着への支援を学んでいることを前提として、保護者対応について焦点化した米澤先生の講座を企画していただけると嬉しいです。
- ❖ 愛着障害の講座をもっと受けたいです。
講師は米澤先生を希望します。
- ❖ もう一度、愛着障害についての研修を希望します。事例検討など、具体的な内容をお願いします。
- ❖ 愛着障害について、事例研修の形でも研修会に参加したいです。また、周囲の子どもたちの心のケアや育成などについても知りたいです。
- ❖ 今回の講演で学んだ事を土台に、保護者対応や事例検討についてより学べる続編のような講演機会があれば、ぜひまた参加させて頂きたいと思います。

- ❖ 愛着障害を抱える子どもたちに対する具体的な（実践的な）添い方
- ❖ 米澤先生の上記の内容に絞った研修会を希望します。
また、教育相談の講師としての藤崎 育子氏（開善塾教育相談研究所 所長）を講師として呼んでいただければありがたいと思います。（山形県でも打診しますが）
- ❖ 自閉スペクトラム症をはじめ発達障害の児童生徒の対応について
- ❖ 新しい研究の成果のことを、脳科学との関連なども教えていただけると助かります。
定型発達ではない子どもの心の中は、周りには、理解されにくいです。
- ❖ 子ども理解に関わる最新の研究成果などの情報は知りたいです。大人になってからの統合失調症や双極性障害など、配慮や支援が必要な保護者対応についても学びたいです。子どもに時代に兆候が見られるのであれば学校現場で実施しうる未然予防のケアについても知っておきたいです。
- ❖ キレル子
- ❖ ヤングケアラーについての支援で、なにかできることはあるでしょうか。学ぶ（考える）機会があればと思っております。
- ❖ 教育カウンセラー有資格者として、現在子育て支援教育カウンセラーの講座を視聴しているところです。富田 久枝先生（千葉大学 特命教授）のお話がとても分かりやすいので、講師選定の参考にさせていただきたく存じます。
本日午前中に、いわてこどもケアセンターの研修（希死念慮のある児童生徒への対応）に参加してきました。児童精神科診療科部長の八木 淳子先生のお話も具体性がありとても分かりやすいですよ。
- ❖ 様々な理論についての学びも勿論深めたいのですが、現場での実践に役立つような、具体的な技法を数多く学ぶことができれば嬉しいです。

—— アンケートにご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

